

12. 用語組込シート インストラクション

- ① 「9. 用語選定シート」「10. 用語関連シート」「11. 用語探索シート」（作成していない場合は「1. 実例シート」）の中から重要語（句）を集め、用語リストを作成します。その他のシートから選んで付け足してもよいでしょう。
- ② 用語リストの中から重要だと感じられる3用語を選び、概念 O、P、Q とおき、記入します。3用語を相互に組み込み構造を作っていきます。
- ③ O を主語とし、述部に P と Q（順不同）を使った文で、フェルトセンスを表現します。
- ④ P を主語とし、述部に Q と O（順不同）を使った文で、③と同内容を表現します。
- ⑤ Q を主語とし、述部に O と P（順不同）を使った文で、③と同内容を表現します。これで、O、P、Q の3用語が相互に組み込まれました。この3文を、OPQ 文セットと呼びます。
- ⑥ 用語リストから1つ選び R とします。R を主語とし、述部に OPQ（順不同）を含む文で、フェルトセンスを表現します。
- ⑦ ③の文をなるべく変えずに R を付加し、⑥と同内容を表現します。文法上必要な変更は加えてもかまいません。複数の文に分割してもかまいません。
- ⑧ ④の文をなるべく変えずに R を付加し、⑥と同内容を表現します。文法上必要な変更は加えてもかまいません。複数の文に分割してもかまいません。
- ⑨ ⑤の文をなるべく変えずに R を付加し、⑥と同内容を表現します。文法上必要な変更は加えてもかまいません。複数の文に分割してもかまいません。4用語を含む4文による OPQR 文セットができました。
- ⑩ 用語リストから1つ選び S とします。S を主語とし、述部に OPQR（順不同）を含む文で、フェルトセンスを表現します。
- ⑪ ⑦の文をなるべく変えずに S を付加し、⑩と同内容を表現します。文法上必要な変更は加えてもかまいません。複数の文に分割してもかまいません。
- ⑫ ⑧の文をなるべく変えずに S を付加し、⑩と同内容を表現します。文法上必要な変更は加えてもかまいません。複数の文に分割してもかまいません。
- ⑬ ⑨の文をなるべく変えずに S を付加し、⑩と同内容を表現します。文法上必要な変更は加えてもかまいません。複数の文に分割してもかまいません。
- ⑭ ⑥の文をなるべく変えずに S を付加し、⑩と同内容を表現します。文法上必要な変更は加えてもかまいません。複数の文に分割してもかまいません。5用語を含む5文による OPQR 文セットができました。
- ⑮ 同様の手順で用語を追加していきます。追加語は用語リストから選びます。用語の追加は、次の手順でおこないます。

手順1：追加用語を主語とし、述部に他の用語すべてを含む文で、フェルトセンスを表現します。

手順2：直前の文セットをなるべく変えずに追加用語を組み込みます。文法上必要な変更は加えてもかまいません。複数の文に分割してもかまいません。
- ⑯ 加えたい用語がなくなったら終了します。用語数と同数の、同内容を表現する文セットができます。

最終段階の文セットで相互に関係づけられた「用語」を「概念」と呼びます。「概念」の相互関係を「概念システム」と呼びます。「概念システム」は個人の持つ価値観のシステム、持論（個人理論/マイセオリー）です。